

摂津スクール最前線！



毎月、市立小・中学校の取り組みや注目の人物、普段取り上げられない教育現場の舞台裏などを紹介・お知らせします。

問合せ 学校教育課へ

今月は、第一中学校の校区「一中、味舌小、摂津小」で行っている取り組みについて「**主体性を育むために**」をテーマに紹介します。



第一中学校

縦割り団で
学年を超えたつながりを



一中では、学年を超えたつながりを形成するため、クラスごとに色分けを行い、同じ色の他学年と共同して取り組みを行う「縦割り団」を実施しています。体育大会や合唱コンクールなど学校の生徒会行事を縦割りして、点数を競います。獲得した年間ポイントは、生徒会が集約して渡り廊下に掲示します。

上級生はこれまでの経験や知識を活かし、団をまとめ下級生の手本となり、**団をより良い方向へと引っ張っていく自覚と責任が芽生えます**。下級生も1年後、2年後には**先輩のようにになりたいという憧れや、先輩を超えたいという目標**が自分自身の成長へとつながっていきます。協力する姿や課題の解決に向かう姿など「**非認知能力**」を高めるきっかけとなります。



味舌小学校

「**どうして?**」を
自身で解決!

味舌小では、国語科において、自分たちで立てた「問い」を解決する取り組みを行っています。「**どうしてこの題名なのかな**」「**次はこんなことを解決してみたいな**」など、子どもたちの思考に沿った授業を行うことで、**自然と主体的に授業に取り組む子どもたちが増えてきました**。

今年度は市の重点校として、「**学ぶ楽しさを実感し、確かな学力を身につける子どもの育成**」をテーマに研究を進めます。特に「**対話**」を通して、子どもたちが自ら「**問い**」を解決する力を育み、友達とつながることができる授業を目指し、日々取り組んでいます。



摂津小学校

主体的に考え、
高め合う子どもの育成



摂津小では、「**書きたい、読みたい、話し合いたい**」という意欲を高める「**魅力ある言語活動**」に取り組んでいます。「**言葉の力**」は学習の土台であり、思考を発展させる重要なものであることから、これまで文部科学省や大阪府教育委員会の調査研究実践校として研究を重ねてきました。

国語の教材と関わりのある本を何冊も並行して読む「**並行読書**」、自分の考えについて根拠を明らかにしながら話し合う活動、自由参加の俳句展、外国の方との英語での交流など、さまざまな言語活動に取り組んでいます。これからも、楽しく「**言葉の力**」を伸ばし、子どもたちの主体性を育んでいきます。



各学校の取り組みや市の教育の最新情報を YouTube 「**摂津市教育委員会チャンネル**」で配信中!

